

議会機能の強化・充実を



横芝光町議会議長
八角 健一

新年明けましておめでと
うございます。

輝かしい平成二十年の新春を迎え、謹んでお慶びを
申し上げます。

町民の皆様には、平素から
当議会に対し深いご理解
とご支援を賜り厚く御礼申
上げます。

昨年は、一年を表す漢字
に「偽」が選ばれたように、
食品偽装や政治資金・年金
記録不備の問題など暗い、ニ
ューが多かった年でした。ま
た、新潟県中越沖地震、九
州地方の大雨、関東地方を
襲った台風など、地球温暖

化が叫ばれるなか、自然災
害が数多く発生した年でも
ありました。幸い当町には
大きな被害は無く済みまし
たが、改めて自然災害の怖
さと防災対策の必要性を痛
感するものでした。被災さ
れた方がたの一日も早い心
と体の治癒と、今年一年の
安寧を心から願うものであ
ります。

さて、今年には横芝中学校
建設や新栗嶋橋架橋事業
など、新町建設計画に掲げ
る、町を挙げてのビッグプ
ロジェクトが本格的に動き
出します。

こうした状況にあって、
財政状況は依然として厳し
く、限られた財源を如何に
して有効に町民のための町
づくりに充てていくか、ま
た、年々増える経常経費を
どのように抑制していくの
か、行財政改革の推進は、
今後でも取り組んで行かな
ければならない重要な課題で
あります。

議会に課せられた大きな
使命の一つは、行政に対す
るチェック機能であります。
私どもは、今一度その責務
の重大さを認識し、議会機
能の強化・充実に努めると
共に、執行部と車の両輪の
ごとく連携し、より良い横
芝光町の建設に全力を傾注
してまいる所存でございます
ので、皆様のなご一層の
ご支援をお願い申し上げ
ます。

結びに、町民皆様の益々
のご健勝とご多幸をお祈り
申し上げます、年頭のご
あいさつといたします。

平成20年は子年

今年の子年。干支といえ
ば十二支が思い浮かびます
が、干支は「十干」と「十二
支」が組み合わされたもの
で今年の干支は、十干の戊
(つちのえ、ぼ)と十二支
の子(ね、し)が合わさり、
戊子(つちのえね、ぼし)
となります。十干はなじみ
の薄いことばですが、十干
は甲・乙・丙・丁・戊・己・
庚・辛・壬・癸と10まで続
き、十二支(子・丑・寅・
卯・辰・巳・午・未・申・
酉・戌・亥)は12まで続
きます。また、今年は閏年
(うるうどし)で2月が29
日まであり、8月には第29
回夏季オリンピック北京大
会が開催されます。

昔話があります。神様が十
二支の動物を決めようとい
ろいろな動物を競走させま
した。ねずみはいち早くで
かけた牛に乗ってゴールま
で近づき、ゴール直前で牛
から飛び降り、一等となつ
たねずみが十二支の一番手
を獲得。このとき、ねずみ
は猫に嘘を教えたため、猫
は競走の遅れをとり十二支
に入ることができなくなつ
たことから、ねずみを恨み
追いかけるようになったと
いう話は有名です。また、
ねずみは米俵や稲穂など石
高を表すものと描かれるこ
とも多く、財産を守るのが
得意だと一説に伝えられて
います。

子年の年男、年女は明治
45年(大正元年)、大正13年、
昭和11年・23年・35年・47
年・59年、平成8年、また
今年誕生する平成20年生ま
れの新生児で、昭和23年生
まれの方は還暦を迎えます。
子年のねずみにまつわる

